

更さらに大伴宿禰家持おほともすくねやかもち、坂上さかのうへ大嬢おほをとめに贈る歌

十五首

七四一番

夢いめの逢あひは 苦くるしかりけり おどろきて 搔かき探さぐ
れども 手てにも触ふれねば

七四二番

一重ひとへのみ 妹いもが結むすばむ 帯おびをすら 三重みへ結むすぶべく
我あが身みは成なりぬ

七四三番

我あが恋こひは 千引ちびきの石いしを 七ななばかり 首くびに掛かけむ
も 神かみのまにまに